

# 中央市議会 だより



実り豊かな  
生活文化都市

<http://www.city.chuo.yamanashi.jp>

No. 47

平成29年11月1日発行

ふう～  
やっとでた!!

## 特集 庁舎整備事業

- 9月定例会で決まったこと……P4
- 審議結果……P11
- 市長の行政報告……P12
- 一般質問に6議員……P13
- 委員会レポート……P16
- 12月定例会の予定……P19
- 市民の談話室・編集後記……P20

田富第2保育園運動会

# 策で実施設計へ

## 庁舎整備特別委員会

これまでも特別委員会を開催する中、今年3月に国土交通省が発表した新たな浸水想定区域図（150年に1度の大規模水害を想定）に対応するための費用など、状況を随時確認してまいりました。それらの経緯も踏まえ、今定例会では常任委員会での審査に先立ち庁舎整備特別委員会を開催、市当局へ出席を要求し、庁舎整備事業費に係る補正予算の内訳をはじめ、改めて基本計画からの変更点等の詳細説明を受け、質疑や協議を行いました。



増設庁舎のイメージ図（※デザイン等は今後変更になることがあります）

### 委員会からの意見

田富北小学校の移転をはじめ、田富庁舎周辺の大規模事業が数多く控える中、建設の作業工程では工事車両を含めた駐車スペースの確保は重要。駐車場用地の転用には法的な手続きを踏む必要があるため、スペース確保や来庁者等の安全対策の計画を早急に進めるよう求める意見が出されました。

### おもな質疑

**Q** 実施設計が完了する前に工事費が算出できるの？

**A** 新たに浸水対策等を加味して実施設計を進める中、概算費用を算出しました。現在、実施設計の詰め段階であり、予算を踏まえ完了させます。

**Q** 工事を進めるにあたり、工事中の来庁者用駐車場の計画は？

**A** 職員の駐車を田富図書館駐車場の一部と学校給食センター建設予定地に振り分け、来庁者用駐車場を確保します。

**Q** 工事中は多くの業者の出入りや、大きい工事車両の出入りもある。周辺は通学路にもなっているが、安全確保対策は？

**A** 現在調整中ですが、工事車両の出入りは規制し、安全対策に努めてまいります。

**Q** 増設庁舎の浸水対策は説明を受けたが、既存庁舎への対策もしっかり対応してもらいたい。

**A** 既存庁舎については今年度から来年度にかけて実施設計を進める中で、具体的な浸水対策を検討していきます。

# 特集 新たな浸水対

9月定例会に上程された補正予算では、19億9,984万円が庁舎整備事業分として計上され、可決しました。田富庁舎敷地内の田富福祉センターの解体工事も今秋から始まるなど、本格的に事業が動き出す中、今回は庁舎整備にスポットを当てて特集します。

## 庁舎整備事業費（19億9,984万円）の主な内訳

- **増設庁舎建設工事費** ……18億8,568万円  
田富庁舎敷地西側に建設する2階建ての増設庁舎の建設工事費用
- **敷地外駐車場整備工事費** ……1億157万円  
増設庁舎の整備に伴い不足する駐車場約260台分を既存庁舎南側に整備する費用
- **増設庁舎建設に伴う外構設計業務委託** ……629万円  
敷地内、南東入口の坂の傾斜改修と、歩道設置を含む外構設計の費用

※今回補正要求された金額はあくまで概算費用です。  
実際の費用は実施設計完了後に算出されます。  
実施設計を進める過程での概算を基に、補正要求されました。



歩道を設置し傾斜を緩やかにする予定の田富庁舎東南入口

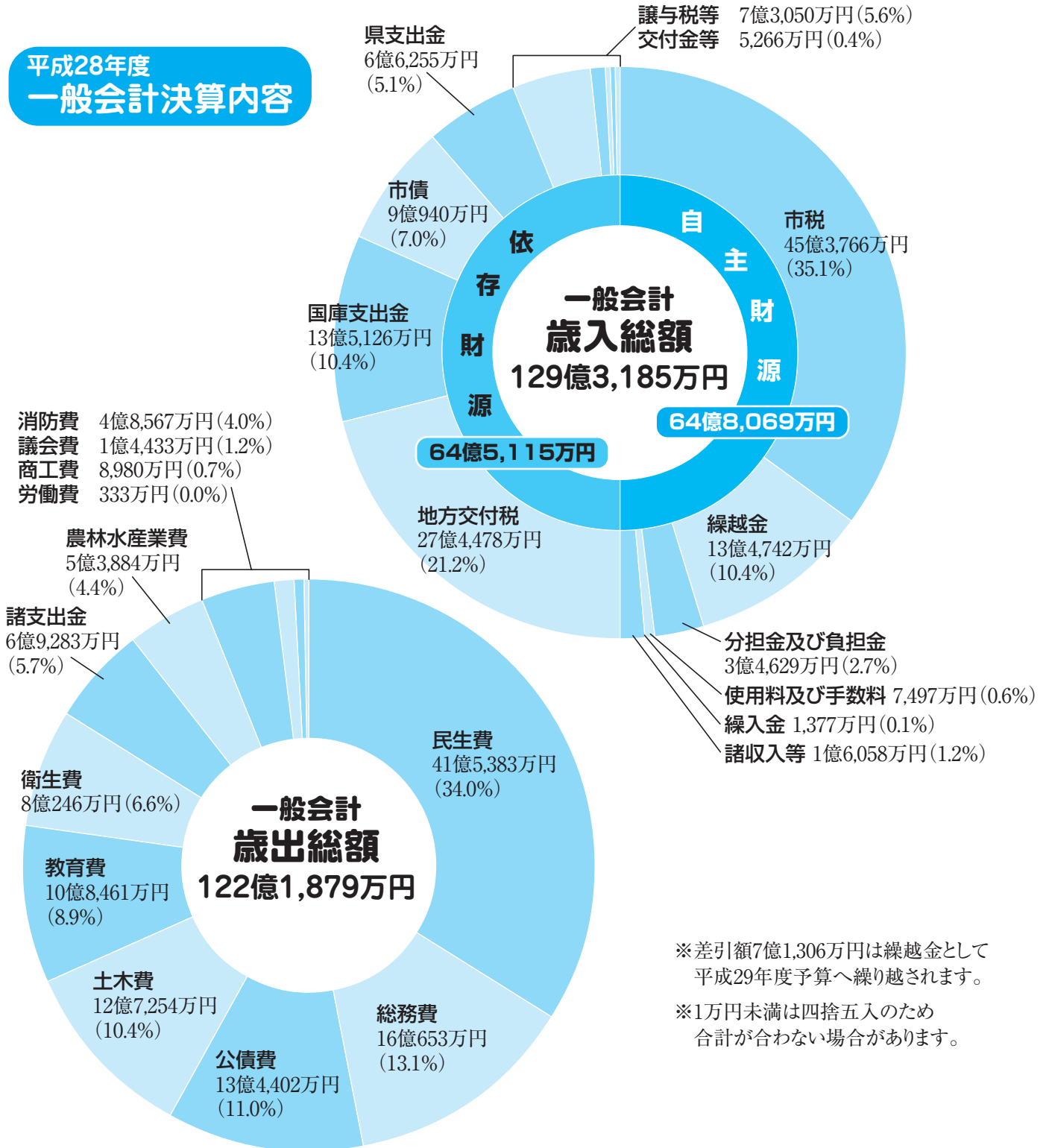
## 反対討論

本補正予算に含まれる市庁舎整備事業では、増設庁舎や敷地外駐車場の工事を含ま20億円近い多額な予算が計上されているが、基本計画と比較すると5億円近い増額となっている。基本計画の発表以後、広報等で庁舎整備を取上げる時も増額については触れられておらず、元々慎重・反対意見が多数あった中、市民への周知が不十分な現状では賛成できない。

# 億1,879万円を認定

9月定例会は、9月1日から22日までの22日間の会期で開催され、市長提案の平成28年度一般会計・特別会計・企業会計の歳入歳出決算認定10件、条例改正3件、平成29年度補正予算4件、また、請願1件、意見書1件が提案され、議決しました。

## 平成28年度 一般会計決算内容



※差引額7億1,306万円は繰越金として平成29年度予算へ繰り越されます。

※1万円未満は四捨五入のため合計が合わない場合があります。

# 一般会計の歳出122

一般会計の決算額は、歳入総額129億3,185万円、歳出総額122億1,879万円で歳入歳出差引額7億1,306万円となりました。

財政状況を表す経常収支比率は85.9%と昨年度よりも5ポイント上昇し、財政力指数は0.71となりました。

## 経常収支比率

政策的にある程度自由に使える金額と、人件費や社会保障費、借金の返済など使いみちが決まっています縮減が難しい金額との比率を指します。この数値が高いと新規事業や臨時の費用が必要なときに資金を充てることが難しくなってしまいます。

## 財政力指数

財政力の強弱を示す指数で、経常収支比率とは反対に、数値が高いほど(1.00に近い、あるいは1.00を超えるほど)財政に余裕があるとされています。

## 平成28年度各会計決算額

(1万円未満は四捨五入しています。)

会 計		歳 入	歳 出	差引額
一 般 会 計		129億3,185万円	122億1,879万円	7億1,306万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	37億2,309万円	35億9,688万円	1億2,621万円
	後期高齢者医療特別会計	2億2,211万円	2億2,099万円	113万円
	介護保険特別会計	18億8,106万円	17億1,709万円	1億6,397万円
	地域包括支援センター特別会計	1,377万円	1,377万円	0
	簡易水道事業特別会計	2億8,647万円	2億7,339万円	1,307万円
	下水道事業特別会計	12億8,777万円	12億4,408万円	4,369万円
	農業集落排水事業特別会計	2億6,912万円	2億5,260万円	1,652万円
	田富よし原処理センター事業特別会計	9,636万円	7,822万円	1,814万円
上水道事業会計	収益的収支	3億910万円	2億2,761万円	
	資本的収支	5億6,976万円	9億4,626万円	

## 中央市借金と預金の状況は？

◆借金(市債の28年度末現在高) 232億2,334万円

市民1人当たり……76万円

◆預金(基金の28年度末現在高) 77億6,438万円

市民1人当たり……25万円

## 財政健全化判断比率

# 平成28年度は財政健全化が進む

4つの指標のうち、一般財源に対する借金返済額の割合を示す「実質公債費比率」は昨年と比較し1.1ポイント減の10.7%となりました。収入や預金に対し、将来返済しなければならない負債額の割合を示す「将来負担比率」は16.4%となり、昨年よりも13.1ポイント改善しました。

また、特別会計・企業会計の資金不足比率では、資金の不足額は生じていないことから、経営資金の状況が著しく悪化している状況にはない結果となりました。

## 28年度 財政健全化判断比率

健全化判断比率	平成28年度	平成27年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	— (▲6.96%)	— (▲15.11%)	H27 13.66% H28 13.69%
② 連結実質赤字比率	— (▲15.92%)	— (▲27.42%)	H27 18.66% H28 18.69%
③ 実質公債費比率	10.7%	11.8%	25.0%
④ 将来負担比率	16.4%	29.5%	350.0%

### 解 説

国は地方自治体に「一般会計の実質赤字」「全会計の実質赤字」「実質公債費」「将来負担」の四つと公営企業会計の「資金不足」を毎年度公表することを義務づけています。一定の基準を超えると、財政健全化計画の策定と県・国への報告が義務づけられたり、総務大臣の許可を得なければ借金（地方債の発行）ができなくなったりします。

## 28年度 資金不足比率

特別会計	平成28年度	平成27年度	経営健全化基準
上水道事業会計	— (▲170.6%)	— (▲403.1%)	20.0%
簡易水道事業特別会計	— (▲12.7%)	— (▲17.7%)	20.0%
下水道事業特別会計	— (▲14.1%)	— (▲15.8%)	20.0%
農業集落排水事業特別会計	— (▲44.8%)	— (▲25.7%)	20.0%

### 資金不足比率とは

地方公共団体の各公営企業会計の資金の不足額の割合を表す指標です。公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較することで、経営状態の悪化の割合を示す指標とも言えます。

# 監査委員の 決算審査意見書

## 要 約

監査委員

乙黒 環

長田 温雄

福田 清美

### 〈審査の期間〉

7月4日(火) から7月27日(木) まで

### 一般会計・特別会計

### 〈審査の結果〉

各会計の決算書等は、いづれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であるものと認められた。予算執行状況は、概ね適正に執行されていると認められた。また、基金についても運用・管理は適正であると認められた。

### (意見と指摘事項)

一般会計の決算は、前年度に比べて、歳入総額が2・8%の減、歳出総額は2・2%増で、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を引いた実質収支は5億5、478万円の黒字となった。歳入面では、自主財源比率が50・1%と昨年度より

3・5ポイント上昇したものの、依然として1/2を依存財源で賄う厳しい財政状況である。事務事業全般においては、内部統制の徹底を図り、マニュアル整備やチェック体制の強化、責任体制の見える化に努めていただきたい。

### ① 市税の徴収状況

前年度比0・6%減少したものの、前年に比べ市税全般に徴収率の向上が伺われ、収納体制の強化充実に向けた取り組みが認められた。さらなる徴収率の向上を期待するとともに、学校給食費や市営住宅使用料などの各種使用料についても収入未集金の解消に向け努力していただきたい。

### ② 一般会計歳出の状況

前年度に比べ、総務費・民生費・土木費・諸支出金

### ③ 特別会計の状況

特別会計は8会計合計の歳入総額が前年度比3・0%増、歳出総額は前年度比0・3%増となっており、実質収支は3億7、273万円の黒字となっている。会計別に考察すると、前年度と比べ国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、田富よし原処理センター事業特別会計は実質収支額が増加したが、他4会計については減少した。

### 上水道事業会計

### 〈審査の結果〉

決算諸表は企業会計の原則に従って整備され、計数は正確で内容も正当なものであり、会計諸帳票、証拠書類等の処理管理についても公正かつ適切に処理され、正確なものと認められる。

### (意見と指摘事項)

前年度に比べ、給水人口が16、687人で前年度比0・5%減、給水戸数は7、945戸で1・0%増。有収率は2・8ポイント改善し、類似団体平均を上回る好結果となった。今後は、人口増加や節水型社会の進展により収益増は期待できない一方で、老朽管の更新や耐震化・長寿命化対策に伴う多額の設備投資が予想され、厳しい運営を強いられると思われる中、より一層の効率化と財政基盤の安定強化を図り、安全で良質な水の安定供給を基本とした健全経営を遂行されるよう望むものである。

### 審査の総括

庁舎整備や給食センター施設整備、市道の延伸などが合併特例債適用期限の平成32年度までに控えている他、リニア中央新幹線の建設に関連した田富北小をはじめとする施設移転や、老朽化による小学校の大規模改修など、大型事業が多数予定されている。このような状況下、財源不足を招かぬよう、基幹財源である市税を要とした自主財源の確保に最大限努力する必要がある。また合併特例債などの起債についても健全化判断比率に注意を払い健全な運用を心掛けるよう求める。必要性や費用対効果を検討する中で、限られた財源を効果的に配分し、長期総合計画に掲げる施策が計画的に実現できるよう努められたい。また、リニア中央新幹線駅周辺地域の開発は重要な取り組みであることから、市民目線に立ち職員の英知を集結して進めていただきたい。これからも自立した財政運営を念頭に置き、「実り豊かな生活文化都市」の実現に向け、鋭意努力されるよう望むところである。

## 平成29年度 一般会計の補正予算 (第4号)

# 21億628万円を追加し

# 補正後総額152億304万円に

### 一般会計補正予算の主な内容

#### ●総務費

企画総務費(庁舎整備事業) 19億9,984万円

#### ●民生費

保育園費(豊富保育園大規模改修に係る外構工事設計業務委託、備品購入費) 1,036万円

#### ●農林水産業費

農業振興費等(産地パワーアップ事業費補助金、やまなし農業・農村総合支援事業補助金) 1,588万円  
農地費(土地改良施設等基盤整備事業工事請負費等) 2,800万円

#### ●土木費

公園管理費(農村公園多目的グラウンド改修工事測量、設計調査委託料) 817万円

#### ●教育費

学校施設整備費(田富北小学校移転計画に伴う測量業務委託料等) 3,018万円  
教育振興費(部活動全国・関東大会等出場補助金等) 146万円

## 平成29年度 特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後総額
後期高齢者医療特別会計	50万円	2億4,337万円
介護保険特別会計	166万円	21億3,731万円
簡易水道事業特別会計	389万円	2億1,864万円

### 報 告

- 第6号 平成28年度中央市一般会計予算継続費の精算
- 第7号 平成28年度健全化判断比率の報告
- 第8号 平成28年度資金不足比率の報告



# 条例の改正

中央市庁舎整備事業に伴い、田富福祉センターが廃止になります。

## 福祉センター条例の改正

市内の福祉センターは「豊富健康福祉センター」の1カ所になるため、必要な条例改正をします。

### おもな制定内容

- ・題名が「中央市豊富健康福祉センター条例」になります。
- ・条例中の田富福祉センターに係る部分を削除します。
- ※田富福祉センター廃止に伴い、併設されていた社会福祉協議会の田富支所は田富総合会館に移転しました。

介護保険の過料の規定について、対象範囲が拡大されます。

## 介護保険条例の改正

介護保険法の一部改正に伴い、過料に関する規定について条例改正をします。

### おもな制定内容

- ・文書等の提出命令に従わず、職員の質問に対して虚偽の答えをした場合などに過料を科す対象範囲が、従来の第1号被保険者（65歳以上の加入者）関係から第2号被保険者（40歳から65歳未満の加入者）関係まで拡大されます。

# 請願審査・意見書の提出

## 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

- ・請願者
  - 中央市PTA連絡協議会 会長 池田 完
  - 中央市公立小中学校長会 会長 田中 伴泰
  - 中央市公立小中学校教頭会 会長 笠井 知幸
  - 山梨県教職員組合中巨摩支部 執行委員長 諸星 嘉史
- ・紹介議員 齊藤雅浩
- ・審議結果 採択

## 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書

- ・提出議員 小池 章治
  - ・賛成議員 齊藤 雅浩 渡辺 亨
  - ・要旨
    - 1、少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため30人以下学級とすること。
    - 1、義務教育の根幹である、教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
    - 1、教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。
- 以上3点の措置を講じるよう、政府および関係行政官庁に対し意見書を提出するもの。
- ・提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 文部科学大臣

9月22日可決 議会から国へ提出

## 第2回臨時会

平成29年第2回臨時会が8月2日に開催され、市長提案の補正予算1件を審議しました。また、報告が1件ありました。

### 一般会計補正予算

学校給食センターの整備に係る厨房機器調達について債務負担行為の設定を可決しました。

期間 平成30年度～平成31年度まで

限度額 4億1,600万円

### 用語解説

～債務負担行為って何?～

市のお金は年度ごとに事前に決められた予算の範囲内で運用されますが、予算は原則その年度中に支出する金額しか計上できません。そこで例外的に、その年度以降に支出が必要になる金額をあらかじめ担保することを債務負担行為といいます。債務負担行為を設定することで、予算計上されていなくても、業務の委託や工事の請負、売買などに関する契約が事前に締結できるようになります。設定には議会の議決が必要です。

### 報告

和解及び損害賠償額の決定

車道内の瑕疵による事故について和解と損害賠償額について専決処分したことが報告されました。

## 第7回

# 市民と議会の対話集会を開催しました

テーマ 中央市の教育行政について

開催日 平成29年7月8日(土)午後3時

場所 玉穂総合会館 2階

参加者 19名(市内小中学校のPTA役員)



市内各小中学校PTA役員で構成される中央市PTA連絡協議会の皆さまにご出席いただき、7回目の「市民と議会の対話集会」を開催しました。

出席者からは「不審者情報等の共有による、地域で見守る体制作り」や、「教職員多忙化の解消に向けた部活動への外部指導員配置」、「学童保育の時間延長について」など、多岐にわたるご意見をいただきました。今後、議会としていただいたご意見や対話内容に対する検証や、第2次長期総合計画の策定に向けた中で市当局への申し入れ等も協議してまいりますので、紙面で改めて詳細を報告いたします。

## 平成29年第3回定例会審議結果

○賛成 ×反対 (河西 茂議長を除く)

種別	案件名	副議長	中フォーラム								公明党		日本共産党		無所属		結果	
		井口 貢	山本 国臣	田中 一臣	福田 清美	田中 健夫	伊藤 公夫	名執 義高	小池 章治	金丸 俊明	斉藤 雅浩	田中 輝美	田中 清	木下 友貴	山村 一	宮川 弘也		関 敦隆
条例改正	・中央市福祉センター条例中改正の件																	
	・中央市介護保険条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・中央市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例中改正の件																	
平成29年度補正予算	・一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	・後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)																	
	・介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)																	
平成28年度決算認定	・一般会計歳入歳出決算認定の件																	
	・国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	・介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	・地域包括支援センター特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	・下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	・農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	・田富よし原処理センター事業特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	・上水道事業会計決算認定の件																	
請願審査	・30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	・30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 平成29年第2回臨時会審議結果

○賛成 ×反対 (河西 茂議長を除く)

種別	案件名	副議長	中フォーラム								公明党		日本共産党		無所属		結果	
		井口 貢	山本 国臣	田中 一臣	福田 清美	田中 健夫	伊藤 公夫	名執 義高	小池 章治	金丸 俊明	斉藤 雅浩	田中 輝美	田中 清	木下 友貴	山村 一	宮川 弘也		関 敦隆
補正予算	・一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 市民の生命財産を守るための 危機管理体制の充実に努めます

市長の

行政報告

9月  
定例会

中央市長 田中久雄



株式会社はくばくと災害協定を締結

行政報告

災害時に備える  
協定の締結

新たに株式会社アダストサービス・株式会社はくばくと、協定の締結を行いました。現時点で53の団体と災害協定が結ばれており、今後も、有事に備えた広域的な連携体制の強化を図っていきたいと考えています。

消防団員の不祥事

法令の遵守やチェック体制の強化、団員としての倫理の保持徹底を図り、市民の信頼回復に努めるよう要請しました。

消費生活相談窓口  
の設置

身近な消費生活に関する相談を受けるため、市役所の総務課内に消費生活相談員を配置しました。

ヒアリへの対応

国・県の情報をもとに、広報などで注意喚起や対処法など情報提供していきます。

トレイルラン大会

今年度は、本大会に向けてのプレ大会を実施します。プレ大会を検証する中で、本大会の実施を計画していきます。

都市公園の都市計画  
決定等の進捗

約5・1畝の「中央市総合防災公園」を、都市計画公園として追加する手続きを進めています。

庁舎整備事業

増設庁舎の建設予定地にある福祉センター等への解体工事に着手し、平成31年5月の供用開始に向けて準備を進めています。

金丸 俊明 議員

**Q** 通学路の拡幅は  
**A** 幹線道路網整備計画に  
基づき対応

ての位置づけは現時点では難しいが、計画路線の整備状況等を勘案する中で検討したい。

**教育長** ②3月、交通指導員が保護者立ち会いのもと、状況調査を実施。通学路の表示看板を設置。新学期以降は、保護者の協力を得て、定期的に交通指導員による安全指導を行っている。学校では、月・水曜日の集団下校時に班ごとの指導を実施している。

【関連質問】  
▼名執義高議員

**金丸議員** ①下成島東の交差点から、神明川に架かる成島橋までの通学路について、拡幅計画の検討結果は。

②通学路の危険箇所の指導は。

**市長** ①交通量調査では、朝7時30分から夕方5時30分までの1日平均で、歩行者8人、二輪車16台、乗用車103台、大型車2台。整備対象道路とし



下成島東交差点から成島橋までの通学路

**Q** 随意契約は  
**A** 全体金額の約24%

関 敦隆 議員

**関議員** ①28年度の、随意契約の総額と割合は。

②選考・決定方法と見積書の保管は。

③130万円を超える随意契約は。

④見積書省略事案は。

**管財課長** ①3億977万円。入札工事請負額全体の24・38%

②所管課が業務の特性や緊急性等を総合的に判断し、管財課と協議して選考している。規定はないが、請負契約書は5年間保存。

③平成28年度は39件。

④見積書提出困難、必要なしの事案はない。

【関連質問】  
▼斉藤雅浩議員

**関議員** 小中学生のスマホ利用は。

**教育長** ネットの安全な



スマホを安全に利用できるよう教育を

## 防犯カメラの設置は

## 今後の検討課題

田中 輝美 議員

**田中議員** ①防災への自  
助力の向上と、女性視点  
防災ハンドブックの発刊  
は。  
②女性消防団員は。  
③防災担当への女性職員  
配置は。

ハンドブックについては  
防災マニュアルの改訂の  
中で、女性視点に配慮し  
た内容を検討する。  
②市職員を中心に女性消  
防隊を編成する計画を進  
めている。  
③女性職員の自己申告書  
も参考にし、適材適所の  
人事配置を行っていく。



**田中議員** ①学校近辺の  
不審者情報は。

②防犯対策の強化は。  
③通学路や学校敷地内へ  
の防犯カメラ設置は。

**教育長** ①8月までに14  
件が報告されている。  
②市職員による青色パト  
カーの巡回、保護者への  
緊急メール、警察との連  
携等に努めている。  
③データベース管理、予算  
プライバシー面等の課題  
がある。現時点では考え  
ていない。



カメラを設置し防犯対策の強化を



## 給食時のアレルギー対応は 独立した調理室を設置

田中 清 議員

**田中議員** 学校給食セン  
ターでの食物アレルギー  
対策は。

**教育長** 独立したアレ  
ルギー代替食調理室を設  
置。取り違えがないよう  
配膳にも注意する。

**田中議員** 新たな水害多  
発時代の備えは。

**危機管理課長** 気象や河  
川水位などの広域的な観  
測システムが整備され、  
国・県等の防災機関との  
連携や的確な避難情報が  
発信できる体制を構築し  
ている。

【関連質問】  
▼名執義高議員



立川市の給食センターを視察しアレルギー対応を研修

## Q ニートと子ども貧困の孤立防止

## A 継続的に支援する

名執 義高 議員



若者の「働く」と「働き続ける」を応援する  
認定NPO法人「育てあげネット」

**名執議員** ①ひきこもり

やニートの現状は。

②長期的な支援体制の必要性は。

③教育・福祉・雇用などの関連機関との連携は。

④孤立無業者の社会的損失について。

⑤若者の自立は社会的投資について。

**市長** ②一人ひとりの発達段階に即し、地域社会全体で情報を共有化し、切れ目のない支援に努める。

③「やまなし若者サポートステーション」との連

携等、各分野の機関と協力関係を深め継続的に支援する。

**福祉課長** ①27年7月の

県による調査で、本市の該当者は21人、20代男性

5人、30代男性4人・女性1人、40代男性5

人・女性2人、50代男性1人・性別不明1人、年

齢不詳女性2人。

④経済的損失は莫大な金額に上る。

⑤若者が長期にわたって無業者やひきこもりになる前の中・長期的支援施策は、将来的な負担を回避するためにも重要。



黄金色に輝く稲穂

**Q** 子育て支援策は

**A** 現行制度で対応

木下 友貴 議員

**木下議員** ①学校給食費

の補助や無償化は。

②子ども医療費の窓口無料の年齢拡大は。

③奨学金制度の導入は。

④子育て応援の風土改革について。

**市長** ②中学校3年生までを市単独事業として実施。現時点で、拡大は考えていない。

**教育長** ①受益者負担の原則に則り、無償化は考えていない。

③29年度から給付型奨学

金、無利子奨学金制度が創設された。市単独では考えていない。

**総務課長** ④第3期中央

市特定事業主行動計画の推進状況を見ながら「イクボス宣言」について検討していく。

**木下議員** 農業振興条例の制定は。

**農政課長** 中央市農業振興地域整備計画等、各種施策を進めている。条例制定は考えていない。

**木下議員** ①生活保護の動向について。

②捕捉率の状況について。

**福祉課長** ①5年間の状況を見ると増加している。②対象世帯・人数が把握できないため数値化できない。

【関連質問】

▼名執義高議員

### 総務教育常任委員会

#### 審査ポイント

#### 公共施設移転に関するJRとの補償交渉は

平成29年度一般会計補正予算

##### 〈政策秘書課〉

**問** 電算化事業のシステム構築等について、業者任せでなく市におけるチェック体制は

**答** 専門的な知識を修得している職員を筆頭に、年間を通じて研修を行い能力の向上を図る中で対応している。

**問** 近隣で税金の徴収ミスが発覚。本市のチェック体制は

**答** 旧来の事務処理方法を移行したなかで支障が生じたようだが、本市では職員指導を徹底している。

##### 〈教育総務課〉

**問** 田富北小の移転では、仮設校舎で過ごす時間をできる限り短くしてほしい。現段階の予定使用期間は

**答** 現在の計画では、概ね平成31年の2学期から平成34年の1学期くらいまでの約2年半。長い期間使用するため、恒久的に使用できるようにしっかりとしたもの建設予定。

平成28年度一般会計歳入歳出決算

##### 〈危機管理課〉

**問** Jアラート緊急速報を日本全国で使う状況が増えてきている。万が一の際に不具合がないよう点検は

**答** 国からの通達を受け、保守管理業者による立合い点検を実施。有事の際の情報確認も行った。本市では正常に稼動している。

##### 〈教育総務課〉

**問** JR東海との補償協議は、事業を予算化する上で事前に補償の確約はとれているか。

**答** 交渉では関係課と連携し強く要望し、財源の確保がなければ期限内に事業ができないという姿勢で交渉を進める。

##### 〈生涯教育課〉

**問** 図書館事業を民間へ指定管理する流れがあるが見解は

**答** 事例は承知しているが、現状の評価は低い。今の運営状況を鑑みると、現状のやり方が良いと捉えており、民間への指定管理は全く考えていない。

### 厚生常任委員会

#### 審査ポイント

#### 国保の広域化にむけ健全運営と市民周知は

平成29年度一般会計補正予算

##### 〈福祉課〉

**問** 下河東駐在所の統合による建物撤去について、敷地は玉穂総合会館の駐車場にするのか。

**答** 駐車場として有効利用する。新たに約18台分のスペースができる予定。

平成28年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算

##### 〈保険課〉

**問** 大幅な黒字となった理由は

**答** 要因は①高額医薬品やインフルエンザの影響減。  
②国・県からの交付金の増。  
③保健事業の成果で、ジェネリック医薬品の使用促進により月約50〜90万円の削減効果があった。

**問** 一般会計からの繰入れや借り入れがあるが、黒字額の扱いは

**答** 借り入れは段階的に返済したいが、医療費の状況により国保財政は左右されるため、

健全運営のため基金の積立てを検討。

**問** 広域化により保険税の算定方式は3方式に移行できるのか。

**答** 当初は県内全市町村が3方式に統一する方向だったが、その後の協議により市町村の任意となった。本市においては平成30年度から3方式に見直したい。

**問** 広域化に向け議論はしてきたが、市民への丁寧な周知は

**答** 最重要事項と認識している。8月の広報でも特集を掲載。今後も情報提供は積極的に進めたい。



ジェネリック医薬品を推進するぬり絵



産業土木常任委員会

審査ポイント サントリー農場の進捗状況は

平成29年度一般会計補正予算

〈農政課〉

**問** 圃場整備するサントリーの農場で収穫したブドウをワインに加工するに当たり、中央市のワインとして銘柄を提案することは可能か。

**答** 登美の丘などの地区名によるワインを既に販売しているように、中央市でも地区名を商品化して販売予定と聞いている。

〈商工観光課〉

**問** 移住定住事業を行う中で現状の手応えは。

**答** セミナー開催やフェアに参加しPR。実際に移住を決め、話を進めている方もいる。

〈建設課〉

**問** 田富玉穂大津線道路整備事業の用地交渉の状況は。

**答** 用地と物件補償は39件中22件が完了済。10月より農地側から工事を発注予定。

**問** 残りの17件の状況は。

**答** 主に県道沿い。事業説明は済み、現在契約の詳細説明を行っている。

平成28年度一般会計歳入歳出決算

〈農政課〉

**問** 農地基本台帳システムデータ入力業務委託について、変更入力した筆数とチェック体制は。

**答** 約2、000筆。成果については職員がサンプリングチェックした後、県の農業者会議に照会を行い二重チェックを実施している。

〈商工観光課〉

**問** 新たな指定管理業者の検証は。

**答** 新たに(株)えべしが4施設を管理しているが、毎月定例会を開催し、収支や利用人数の状況、アンケート結果の報告を受け、協議している。

**問** ビジネスパークへ入った企業について、意見交換等のフォロー業務は。

**答** 年間計画により企業訪問を実施する中で意見も聴取している。市のイベント等の際には企業紹介やPRも実施。市独自の雇用セミナーも現在検討中。

総務教育常任委員会

閉会中の常任委員会 調査・研究報告

◆日時 平成29年7月4日(火)  
午前10時～

◆テーマ 中央市PTA連絡協議会から教育委員会への要望事項と通学路の危険箇所確認

7月8日(土)に開催された第7回市民と議会の対話集会に向け、事前にPTA連絡協議会からの要望事項と通学路の危険箇所を確認し、現状の問題や保護者の意見、またそれを受けての教育委員会の対応について学びました。特に通学路の危険箇所については、実際に現地を回り状況確認することで、車の通行量や道全体の見通しなど、写真では分からない危険性を具体的に調査することができました。今回の調査や対話集会でのご意見を踏まえ、所管委員会として調査・研究を重ね、より良い教育行政の実現に向け、当局の対応状況の確認や政策提言に努めてまいります。



一町畑公会堂付近の通学路の危険箇所

## 厚生常任委員会

### 閉会中の常任委員会 調査・研究報告

- ◆日 時 平成29年7月3日(月)  
午前9時30分～
- ◆テーマ 「市内の障がい者就労支援施設の現状と課題」について

始めに、障がい者相談支援センター「穂のか」にて、障がい者の自立支援と地域生活の推進を図り、充実した生活が送れるようにとのさまざまなサービスの種類や実施計画を学びました。

さらに、市内の事業所(株)ウェーブ・社会福祉法人ぎんが福社会の施設「おひさま」の2カ所を視察。知的・身体の障がいをもっている、自分の体調に合わせてサポートを受けながら、社会に触れながら日常生活ができる体制づくりの確立を確認しました。気軽に相談できる場所があること、サービスを適切に利用し引きこもらず地域生活が送れるよう、さらなる周知活動の必要性も感じました。



障がい者相談支援センター「穂のか」での研修の様子

## 産業土木常任委員会

### 閉会中の常任委員会 調査・研究報告

- ◆日 時 平成29年7月28日(金)  
午前10時～
- ◆テーマ 「これからの中央市のまちづくりに」について

リニア開業の効果を最大限に生かす検討が進められている中、土地をいかに利活用するかは重要なテーマです。産業土木常任委員会では、まちづくりについて過去3年間継続的に勉強会で調査・研究をしてきました。今回も第2期長期総合計画や都市計画マスタープランの見直し、リニアの開業を見据え、これからのインフラ整備を含めた総合的な中央市のまちづくりについて、関係各課長を招き調査・研究・意見交換を行いました。このテーマは大変重要な問題ですが、一朝一夕でできるものではありません。中長期的な視点で、今後も必要に応じさらなる調査・研修を行い、状況報告をいたします。



関係各課長より説明を受けました

## リニア中央新幹線対策特別委員会

9月20日に開催し、リニア交通政策課より6月以降の沿線地区とJRとの折衝状況など、現況について説明がありました。また、教育委員会からは田富北小学校の移転問題などについて、完成した基本計画に基づきスケジュールや配置の概要説明を受けました。委員からは移転全体に関わる設計の効率化やコスト削減など、多数の意見や質問がありました。今後も沿線地区への対応や公共施設の移転問題について注視し、随時ご報告します。

## 視察研修受入れ

### 栃木県下野市議会

7月31日(月)栃木県下野市議会の議会だより編集委員会(7人)が「議会広報の編集」について、視察に訪れました。



**平成29年12月定例会の予定** 12月議会は、次のとおりの予定となります。お気軽に傍聴においでください。

5日(火)	午前10時	開会	14日(木)	午前10時	一般質問
7日(木)	午前9時30分	総務教育常任委員会	15日(金)	午前10時	一般質問
8日(金)	午前9時30分	厚生常任委員会	19日(火)	午前10時	閉会
11日(月)	午前9時30分	産業土木常任委員会			

※日程等は定例会前の議会運営委員会で決定されます。変更される場合がありますのでご了承ください。

●議会は誰でも傍聴できます。(傍聴席36席)

なお、本会議は田富庁舎1階ロビーでテレビ放映します。お気軽に、傍聴においでください。

## 議会だよりの表紙写真を大募集!!

今年度のテーマは  
「アットホーム」です!

あなたの写真が  
表紙をいろどります。

宛  
先

〒409-3892

中央市白井阿原301-1

中央市議会事務局

e-mail: gikai-boshu@city.chuo.yamanashi.jp



※詳細は議会情報のHPをご覧ください。

[http://www.city.chuo.yamanashi.jp/gyosei/gikai\\_info.php](http://www.city.chuo.yamanashi.jp/gyosei/gikai_info.php)





# 市民の談話室



リバーサイド第3  
大木賢太郎

## 夏の恒例行事

中学校を卒業するまでの夏休み中の毎朝の行事は、ラジオ体操とソフトボールの練習でした。

昨年引っ越してきた私たちは、近所で行われているラジオ体操に今年から参加しました。意外と体は覚えているもので、ハンコをもらう事と、ソフトボールの事しか頭になかった昔とは異なり、40を超えた今年が一番まじめにラジオ体操をしたと思います。毎朝6時過ぎに子どもたちを起し、ラジオ体操をして会社に行く。運動不足の日々に少し体を動かす機会をもらい、心も体も少し軽い夏を過ごす事ができました。

もう数年もすれば「えー、パパも一緒に行くのお?」と、一緒に行く事を嫌がられると思います。子どもたちと公園に向かう夏の朝は、何とも言えない幸せな時間でした。育成会・子どもクラブの皆さまに感謝申し上げます。



一町畑  
北村 星那

## 中央市での生活

中央市に引っ越してから3年が経ちました。自然の豊かさを感じて癒やされています。

出身は長野県松本市で、高校時代には高校の校門の先に北アルプスを毎日眺めていました。今は、通勤の行き帰りに富士山と八ヶ岳をそれぞれ眺めています。富士山は毎日見ても飽きないです。

また、通勤時には田んぼの中を通り抜けているので、田んぼに水が入り、田植えがされ、稲が成長し、稲の花が咲いて、稲穂がだんだんと頭を垂れていって、稲刈りがされる。こうした1年を通した田んぼの変化で季節を感じています。ふとした時に季節の移り変わりの早さを実感しています。

基本的には家と職場の往復で、まだ行ったところもないところも多いですが、これからもっと魅力を発見していきたいと感じています。

## 編集後記

稲の穂も黄金色に染まり、農家にとっては一番の収穫の喜びの時期でもあります。9月に入り台風の多い時期ですが、今現在大きな水害などの被害もなく安堵しているところです。

防災の月を迎え、昨年12月議会での一般質問にもありましたが、水害に対する市の取り組みとして、タイムラインの活用と洪水予報河川における市内の公共施設避難場所の整備・精査に併せ、県との連携が重要になってきます。市民の皆さんのくらしの安心・安全を

基本に、今議会でもさまざまな内容が検討されました。本紙に特集してほしいこと、市議会について知りたいことなど、皆さまからのご意見をお待ちしております。

[田中 清]

議会広報  
編集委員会

委員長 田中 清  
副委員長 木下 友貴  
委員 渡辺 亨 小池 章治  
名執 義高 福田 清美